

【一元一次方程式及びその解の意味】 教科書の指導区分を考えた小単元名（指導の区切り）、教科書のページ数等を書く。 教育課程研究センターから出された区分とは必ずしも一致しなくてよい。				
観 点	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量・図形などについての知識・理解
規 準	一元一次方程式及びその解の意味に関心を持っている。	身の回りに一元一次方程式で表される事象があることを見だし、その解の意味を理解している。	一元一次方程式をつくることができる。	一元一次方程式及びその中の文字や解の意味を理解している。
評価場面	一次方程式や解についての説明場面	方程式単元全般にわたって	単元テスト・定期テスト	単元テスト・定期テスト
評価方法	ノート	ノート	テスト形式	テスト形式
実 際	授業の終了時等に「一次方程式の学習が始まりました。どんな気持ちですか」と問いかけ記述させる。 加点基準として考える。	【一般化の考え方】 毎時間、「方程式がこんな場面で使える、使っていた（例 理科の何を求める時）と言える場面がある。」	方程式の解の意味が分かるように、方程式 $3x - 18 = 27$ の解が、15であることを示しなさい。 x に 15 を代入して、確かめてい	次のうち一元一次方程式を選びなさい。 (1) $x - 8 = 5$ (2) $x + 9$ (3) $a + 1.0 = 1.2$

教育課程研究センターから出された規準で、指導区分にあてはまるものを書く。

「授業中」、「の学習前（後）」、「ペーパーテスト」など評価場面を書く。

「発表」「観察」「ノート」「テスト形式」など、評価する方法を書く。

ここが一番大切！！
「知識・理解」「表現・処理」の部分は、これくらいは全員の生徒が達成してほしいと考える教科書の問題例（基本原則）を書く。達成したかどうかを判断する問題例（実際の問題でなく、文章表記でもよい）
「見方・考え方」の部分は、片桐重男氏の数学的な考え方分類をもとに、規準を身につけさせるための授業中の発問例や問題例等を書く。
「関心・意欲・態度」の部分は、規準に照らし合わせて、加点される要素や子どもの姿を書く。
A基準をあらためて表示する。あるいは、この欄での留意事項を書く。

子ども記述
選択でき
を工夫す
の評価で

備 考	前向きな記述のみを加点することはしない。判断は担当に任せる。	教科書の導入題である便せん枚数を求める例を必ず扱う。身の回りの事象で方程式の考えを活用している場面をいくつか挙げさせておくことが重要である。	方程式を解いて $x = 15$ であると示す生徒もいるので、わざわざ「方程式の解の意味が分かるように」と付記した。 規準から実際までの欄で記述できなかったことや留意点を書く。	小学校で学習した を使って問題解決をする方法を想起させ、比較しておきたい。
-----	--------------------------------	--	---	---------------------------------------